

人的 街の活性化資源活用プロジェクト

取組に至る背景・事業の目的

- 平成 21 年に、クイズを解きながら市街地を巡る「設問ウォーク」を実施したところ、県内外から多くの参加があり、また、参加者から、クイズのみでなくガイドをつけてほしいとの要望があった。
- ガイド付きおもてなし設問ウォーキングを通じ、県内外の参加者と商店街、地域住民との交流を図る。
- 設問ウォーキング参加者に、市街地の観光・地産地消等の情報を発信、また、参加者同士の交流を図る。
- 地域住民の「おもてなし」意識の啓発とともに、地産地消につながる地域住民重視の活性化をめざす。

事業内容

- ガイド付きおもてなし設問ウォーキングを開催した。設問ウォーキング参加者が、コース上にある設問を解きながら市街地を歩く。(写真上) 設問を解くために、参加者同士が話し合うので、仲間意識が生まれ親しくなる。(写真中・下)
年 9 回開催し、設問数は 50 問。この内、地元の住民に聞かないとわからない設問も用意した。
- 地元住民と設問ウォーキング参加者との交流セミナーを開催した。また、上田地域産業展出展、砥石米山城祭り等へ参加した。これらにより、市内各地域とのコミュニケーションを図り、情報を収集し、参加者や地元の住民に、上田の他地域を知ってもらった。
- 地域の情報を発信するために、6 月からマップ付きホームページを開設。順次、情報を発信している。
- 地元の勉強会として、講師を招き“円座トーク”を開催した。



【 ガイド付き設問ウォーキング中 】



【皆で知恵を出し合い、設問考え中】



【 参加者の皆さんと記念撮影 】

事業効果

- ガイド付きおもてなし設問ウォーキング年 9 回の開催で、81 名の参加があった。(前年比 59%アップ)
- 観光客と地域住民との交流及び地域住民の「おもてなし」意識の醸成が図られた。
- 観光客の誘致、地域情報の発信により地域活性化につながる活動ができた。
- 各種団体との協働による地域活性化

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 地元の祭り、歴史等を正確に伝えるため、スタッフのガイド知識のレベルアップを図る。
- 市街地以外にも新たなでも設問ウォーキングコースを設定してほしいとの要望があるため、活動場所の拡充を図る。

【選定のポイント】

地域の観光、地産地消等の情報発信と、観光客と地域住民との交流が促進されるとともに、地域住民の「おもてなし」意識の醸成が図られている。

また、団体自身が地域のイベントに参加するなど、他団体との積極的な連携に努めている。

団体名 ゲートウェイ UEDA ウォーク信州上田城下町(上田市)
 連絡先 代表 池田 元子
 TEL 090-1403-4029 E-mail flkai@po10.ueda.ne.jp

事業タイプ ソフト事業
 事業費 3, 545, 187円
 支援金額 3, 000, 000円